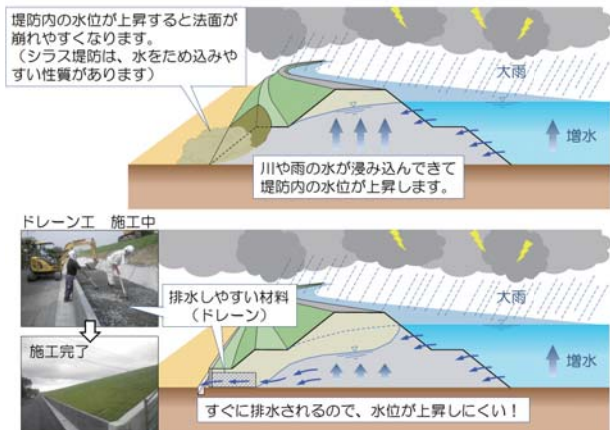


雨

から人を 守るために

「肝属川水系流域治水プロジェクト」を推進していきます！

高山地区の中心を流れている「肝属川」。かつて起きた大規模な水害を繰り返さないため、現在進められているプロジェクトについて、国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所 調査第一課 門田 仁さんにお話を伺いました。



(浸透対策整備イメージ)



今年も本格的な出水期をむかえました。高山川では昭和13年10月に大水害が発生し、この水害の碑が高山橋のたもとに建てられています。近年では、ほぼ毎年のように記録的な豪雨によって全国各地で大きな被害が発生しています。

一昨年令和2年7月豪雨では肝属川流域でも鹿屋市を中心に大雨となり、鹿屋市王子町の王子橋観測所ですべて最高水位を記録しました。もし鹿屋市に降ったような大雨が肝属川下流域や高山川流域で降っていたら、肝付町内でも様々な被害が発生していたかも知れません。

このような近年の記録的な豪雨に対応するため、河川・ダム・下水道管理者、また

砂防や林野・治山関連の部署等、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」へ転換する方策が進められており、肝属川流域においても令和2年度末に「肝属川水系流域治水プロジェクト」を策定し、これに基づいた施策を推進しているところです。

肝付町内においてはこれまで継続的に実施してきた「シラス堤強化対策事業」が流域治水プロジェクトに位置づけられ、昨年度は肝属川右岸側の永田橋から高良橋間の前田地区や、俣瀬橋下流右岸側の野崎地区において施工しました。今年度もさらに下流側の波見地区で工事を予定しています。肝属川の堤防は水の浸透に弱いシラス成分を含んでいるため、堤防の水が越えなくとも堤防の一部が崩壊して大規模な災害につながる可能性があります。堤防の民地側でドレーン工と呼ばれる浸透対策工事を実施し、シラス堤強化対策を進めていきます。

新法令が施行されたり、補助制度が拡充されたりと治水行政は変革期にあります。様々な情報をあらゆる関係機関と共有しながら、連携・協働して、住民の皆様の安全のため防災に取り組んでいきます。

国土交通省 九州地方整備局
大隅河川国道事務所 調査第一課

門田 仁

CONTENTS : 目次

- 02 雨を知る (肝付町防災特集)
- 07 新型コロナワクチン情報
- 08 町からのお知らせ
- 09 町のわだい
- 10 肝付町住宅助成金
- 11 結婚新生活支援事業補助金 ほか
- 12 女性がん検診
- 13 国民健康保険税のお知らせ ほか
- 14 通行止め情報
- 15 東部署だより ほか
- 16 塗り絵コンクール2022 ほか
- 17 肝付町の教育・文化・スポーツの今

広報きもつき vol.205 July 2022

- 18 楠隼中学校・高校だより
- 19 学校ニュース
- 20 熱中小学校 ほか
- 21 地域おこし協力隊活動報告 ほか
- 22 セーフティライフくにも岳
- 23 栄養士さんが教えるレシピ
- 24 本の森
- 25 有料広告
- 26 子育て支援施設紹介 ほか
- 27 人のうごき ほか
- 28 暮らしのカレンダー